春日山原始林でいま起きていること

「次世代を担う木々や地表を覆っていた植物が減り、表土が流れ出している」



シカなどの野生動物の増加により、シイ・カシ等のド ングリや次の世代を担う幼木が食べられ、生長できな い環境になっています。また、地表の草花や低木も少 なく、雨によって表土が流れる現象が起こっています。



野生動物が植物を食べるのを防ぐ柵を原始林内に設置 し、植生の回復状況をモニタリングしています。また 苗木を植えています。





「春日山のドングリのなる木々が枯れている」



カシノナガキクイムシという昆虫がシイ・カシ・ナラ などの樹木に入り、キクイムシが持っている菌が拡大 することにより樹木が枯れる「ナラ枯れ」が原始林の 中で発生し被害が広がっています。



「ナラ枯れ」の被害を防ぐ薬剤を樹幹注入し被害を予防 しています。また、市民団体の協力によりカシノナガキ クイムシを捕獲するトラップを設置しています。





「外来種が入り込み、森の様子が変化してきている|



奈良公園の平坦部に生育している外来種「ナンキンハ ゼ」の実を野鳥が食べ、ふんを落とすことで種が原始 林に入りこみます。シカが好まない植物であるため、 原始林内での生息範囲が広がっています。



木を伐採しています。



原始林のナンキンハゼの生育状況を調査し、発見した成



奈良県は、春日山原始林をとりまく現状の分析や、保全方針の検討 を進めるため、平成24年(2012年)に「春日山原始林保全計画検 討委員会」を設置しました。専門家の意見を交えながら、今までの 活動で得られた経験やデータに基づき、これからも春日山原始林の 保全活動を継続して取り組みます。

※市民団体による春日山原始林内の活動は、奈良県との連携により 実施しているものです。無許可での林内への立ち入りや植物の採取 伐採、機器の設置等は禁止されています。



春日山原始林へのアクセス

バスで

● 春日山遊歩道(北部)へ



● 春日山遊歩道(南部)、 滝坂の道(旧柳生街道)へ

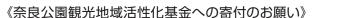
奈良交通バス ② 系統・外回り等



- 近鉄奈良駅から 春日山遊歩道入口(北部)まで約35分、春日山遊歩道入口(南部)まで約50分
- JR奈良駅から 春日山遊歩道入口(北部)まで約50分、春日山遊歩道入口(南部)まで約65分
- 奈良公園バスターミナルから 春日山遊歩道入口(北部)まで約25分、春日山遊歩道入口(南部)まで約40分

原始林を守り、未来へつなぐ取組

春日山原始林の価値と魅力をより多くの方々に知っていただくために、 市民団体「春日山原始林を未来へつなぐ会」と連携し活動を実施してい ます。県の実施する保全事業(保護柵の設置・管理、ナラ枯れ対策、外 来種対応、後継樹育成)への協力のほか、原始林でのガイドツアー、環境 教育、イベント出展でのPR等春日山原始林を次世代へとつないでいく ための啓発活動にも取り組んでいます。



「奈良公園観光地域活性化基金」は、みなさまからの寄付金を財源として、伝統行事 または観光振興事業、文化財の修復事業、歴史的建造物の再建事業、その他奈良公園 の観光資源としての価値を高める事業を支援することにより、奈良公園及びその周辺 地域の活性化を図ることを目的としています。

春日山原始林に関する様々な取組資源の一部を寄付金で賄っています。原始林を 後世に引き継ぐため、みなさまからの温かいご支援をお願いいたします。

春日山原始林保全再生事業

- ・概 要: 千年以上もの間守られてきた、世界遺産「春日山原始林」を未来へ つなぐため、守り育む活動を行います。
- ·活用方法:後継樹の保全再生や、樹木の枯死への対策などに活用いたします。 ·活動期間: 通年

・実施団体:春日山原始林を未来へつなぐ会

■ 奈良県奈良公園室 TEL 0742-27-8028

http://www.pref.nara.jp/27839.htm

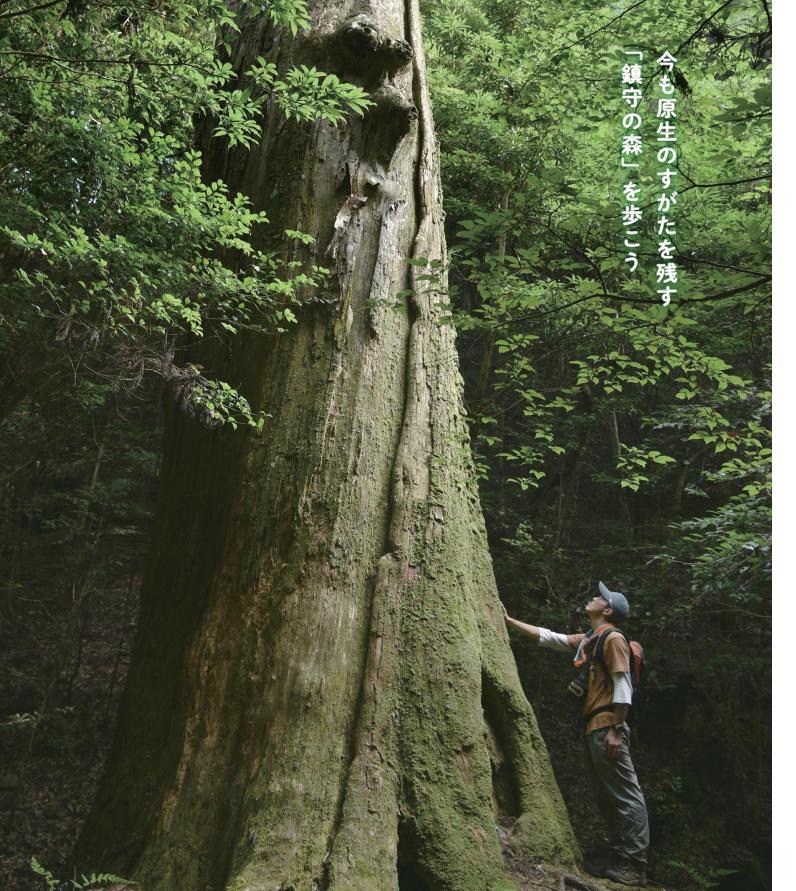


■ 春日山原始林を未来へつなぐ会 TEL 0742-49-6730 https://kasugatsunagu.com/

写真提供・製作協力:春日山原始林を未来へつなぐ会

世界遺産·特別天然記念物

The Kasugayama Primeval Forest



カギカズラ等の蔓性植物や、ナチシダ・ウラジロ等のシダ植物、ホオノキ

春日山原始林の自然

後の稜線を描いている森林です。平安時代の承和8年(841年)に勅命 植物社会を形成する中に、様々な野鳥、シカやムササビ等の哺乳類、ルリ により狩猟や伐採が禁じられ、御蓋山同様に春日大社の神域として位置 センチコガネ等の昆虫類など多くの生き物たちを育む森となっています。 に、樹齢数百年のスギやモミの巨樹が息づいています。そのほか、フジ・ (1955年)に特別天然記念物に指定されました。

春日山原始林は、奈良公園の東に位置し、春日大社の神山・御蓋山の背 ウリハダカエデ等の温帯性の落葉広葉樹など、約800種からなる多様な 市街地に隣接した原始林で、珍しい植生が維持されていることが学術

生となるシイ・カシ類などの常緑広葉樹を主とした照葉樹林が広がる中 的な価値が高いとされ、大正 13年(1924年)天然記念物に、昭和30年



春日山原始林と人々

平安時代の神山化以降も、山の木々が枯れる「山木枯槁(さんぼくここ ようです。 う)」の度に神事を行なったり、水源や分水嶺に末社を建立するなど、神 りません。春日山の東側部分は「花山」と呼ばれ、興福寺や東大寺が仏事 り、現在も当時植樹されたと思われる杉の巨木が数百本残っています。 して開かれ、鎌倉・室町期に作られた石仏が今も残っています。 江戸時 代には奈良奉行所により滝坂の道 (旧柳生街道) として整備され、江戸時 て登録されました。春日山原始林は厳密な意味で「原始林」ではありま 代の観光案内書である「大和名所図会」の中で紅葉の名所と紹介されませんが、千年以上に渡り人々が関わり続けることによって培われた日本 した。当時の人々にとって神域であると共に一部は行楽の場でもあった 人の伝統的な自然観の象徴とも言える森林なのです。

明治維新後、国有地となって以降は、一部地域で木材利用のための伐 域として保護されてきましたが、全く人の手が入らなかったわけではあ 採や植林、材の運び出しのための道路整備などが行われた*1ほか、昭和 初期には春日山周遊道路自動車道が整備され、周遊バスの運行*2など観 16世紀には豊臣秀吉により約1万本のスギの植樹が行われた記録があ 戸台風をはじめ、様々な自然災害で被害を受けた際には在来種による補



*1 人工林となっている地域は特別天然記念物春日山原始林の指定外となっている。

*2 昭和48年に自然保護運動により一部の車両の乗り入れが禁止となった。現在は、奥山ドライブウェイのみ車両の通行が認められており、それ以外の部分は春日山遊歩道として利用されている。

画像協力: 大和名所図会(奈良県立図書情報館所蔵)・春日奥山周遊バス写真(奈良交通株式会社)











うぐいす たき **③ 鶯の滝**



左保川源流とされる滝。高さ10m 程度。平安時代後期の歌人、西行が 三笠山春はこゑにて知られけり氷 をたたく鴬のたき」と詠ったとされ

春日山原始林周遊コース

5 春日山石窟仏



凝灰岩の岩層を深く堀られた洞窟 の壁面に彫られた石仏群。平安時 代末期の造立とされる。東西ふた つの洞窟に、大日如来・阿弥陀如来・ 観音・地蔵・天部など20体近い石仏 が厚肉彫りされている。国指定の

🕜 首切り地蔵



すのところで2つに割れた地蔵石 ム。江戸時代の剣豪・荒木又右衛門 が試し切りしたという伝説が残っ ている。鎌倉時代の造立とされる。

② 夕日観音(弥勒仏)



竜坂の道沿いの急斜面の南面した岩 肌に彫られた磨崖仏。夕日に映えて 美しいところから、「夕日観音」の愛 称で呼ばれるが、観音ではなく弥勒 ム。朝日観音の顔立ちと同じ個性を 示していることから、同時代の造立 と考えられている。

つき ひ いわ



水谷川の傍にある太陽と三日月が 彫られた岩。制作年代は不明だが、 奈良国立博物館の向かいにある氷 室神社の「氷室神社縁起」によると 710年にこの場所に「氷神」を祀っ ことされる。

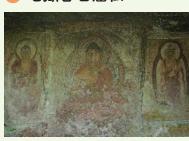
△ 世界遺産「古都奈良の文化財」の碑



財」に指定された際に設置された記

写真提供:新若草山自動車道株式会社

じごくだにせっくつぶつ 地獄谷石窟仏



地獄谷国有林の山中に露出した岩場 に作られた洞窟に、線刻された石仏 群。釈迦如来を中心として、左右に 薬師如来と十一面観音、右壁面に如 意輪観音、左壁面に阿弥陀如来坐像 と千手観音が刻まれており、ところ どころに美しい彩色の跡が見られる。 平安時代後期の造立とされるが、一 部は、奈良時代の説や、室町時代に 追刻された説などがある。国指定の

③ 朝日観音(滝坂道弥勒地蔵磨崖仏)



崗岩の大岩壁に地蔵二体と弥勒 仏を刻み出したもので、朝日に映え て美しくうきだすところから、その 名で呼ばれている。中央の弥勒仏 と向かって左側の地蔵菩薩は鎌倉 時代の造立だが、右側は他の二体と 作風が異なることから室町時代初 期の造立のものではないかと考え られる。



路傍に横たわっている石仏で「寝仏」 と俗称される。上手に彫られていた らのが転落したものである。 金剛界大日如来坐像で、像容の作風 いら、南北朝時代の作かと思われる。

参考文献: 奈良県史7 石造美術、「なら氷室」No.1氷室と氷池と氷室社(氷室神社社務所)



春日山原始林の 木々と生き物

ツブラジイ(円椎)



日山照葉樹林を代表する常緑広葉 尌。葉は小ぶりで先が尖っている。 実は小さく丸みが強い。殻で覆われ ているが秋になると開く。奈良公園 平坦部には、実の大きく三角錐に近 い形のスダジイが 多い。別名コジイ。

イチイガシ(一位樫)



春日山の標高の低い エリアに多いカシの 木の仲間。樹皮は皮 が剥がれ落ちる特徴がある。葉の 縁の半分から上にギザギザ(鋸歯) がある。裏面は黄味がかっており、 細かい毛があり手触りが良い。ド ノグリは、頭頂部に細かく毛が生え



スギ(杉)



目が美しく銘木のひとつとして珍重 されてきた。戦国時代に豊臣秀吉に よる1万本の植樹がされたと言われ、 林内には樹齢500年程度と想定され るスギが数百本残っている。明治時 代には、春日山、花山の倒木材などを 市場に出荷し、公園の造園費用に充 てていた。奥山ドライブウェイや遊 歩道南部や滝坂の道で巨木を多く見

イロハモミジ(伊呂波紅葉)



オオセンチコガネ(ルリセンチコガネ)



の仲間。光沢のある色が特徴だ が、地域によって色が異なる。奈良 公園に生息するものは瑠璃色に輝 くため「ルリセンチコガネ」とも呼

サカキとシキミ(榊と樒)



用される。昔から春日大社、興福寺 によって春日山から伐られて活用 された。春日山の東側斜面一体を 「花山」と呼ぶのは興福寺がここか らシキミの花を ったことが由

モミ(樅)



こめ、巨木となっている物が多い、 命が150年~200年と言われる。

ムクロジ(無患子)



できる落葉広葉 樹。透明がかった黄色い実の果肉 は、水に入れると泡立ち洗剤として 利用された。中の黒い種部分は、数 珠や羽根つきの羽の玉に利用され

ムササビ



ているもの、V字型に削られている ものなどがある。 シカの次に生息数

ていた。秋の黄葉が美しい。

の多い哺乳類と言